

春日部労基だより

労務管理、安全衛生、労働保険等に関する情報を提供いたします。
掲載内容についてご不明な点がある場合には、当監督署までお問い合わせください。

◆第94回全国安全週間（7月1日～7日まで）

本年度の全国安全週間のスローガンは
「持続可能な安全管理 未来へつなぐ安全職場」
です。

令和2年の死亡者数は過去最少となりましたが、休業4日以上
の死傷者数は、高齢者の労働災害、転倒災害等による労働災害が
年々増加していることに加え、新型コロナウイルス感染症の罹患
による労働災害の増加により平成14年以降で最多となりました。

就業構造の変化や社会情勢の変化等に対応し、将来を見据えた
持続可能な安全管理を継続して実施していく必要があります。

各職場での取り組みをお願いします。☞2, 3ページ目参照

◆埼玉働き方改革推進支援センターのご利用について

働き方改革関連法の改正について今後も順次予定されています。
すでにスタートしたものも含め、センターでは各種ご相談に
応じており、無料で専門家を派遣することもできます。

ぜひご利用ください。☞4ページ目参照

<2021年以降の改正内容>

- | | | |
|----------|---|--|
| 同一労働同一賃金 | ➡ | 中小企業 2021年4月1日から |
| 割増率50% | ➡ | 中小企業 2023年4月1日から
(月60時間を超える残業は割増賃金率50%) |
| 残業上限規制 | ➡ | 建設事業、自動車運転者、医師などの時間外労働
上限規制2024年4月1日から |

第94回

全国安全週間

SLOGAN

持続可能な安全管理 未来へつなぐ安全職場

安全管理せな
あかんよ
!!

令和3年

7/1 ▶ 7

令和3年 準備期間

6/1 ▶ 30

宮川大輔

第94回全国安全週間について

全国安全週間は、昭和3年に初めて実施されて以来、「人命尊重」という基本理念の下、「産業界での自主的な労働災害防止活動を推進し、広く一般の安全意識の高揚と安全活動の定着を図ること」を目的に、これまで一度も中断することなく続けられ、今年で94回目を迎えることとなりました。

この間、事業場においては、労使が協調し、労働災害防止に向けた弛まぬ取り組みを展開してこられました。この努力により労働災害は長期的には減少しており、令和2年の労働災害による死亡者数は3年連続で過去最少となりました。

一方、令和2年の休業4日以上労働災害による死傷者数は、高齢者の労働災害、転倒災害、「動作の反動・無理な動作」による労働災害が増加していることに加え、新型コロナウイルス感染症の罹患による労働災害により、平成14年以降で最多となりました。

こうした状況を踏まえ、皆様の職場におきましても、「持続可能な安全管理 未来へつなぐ安全職場」のスローガンのもと、労働災害防止に向けたより一層の取り組みをお願いします。

また、安全活動の実施にあたっては、昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、①密閉空間（換気の悪い密閉空間である）、②密集場所（多くの人が密集している）、③密接場面（お互いに手を伸ばしたら届く距離での会話や発声が行われる）という3つの条件が同時に重なる場を避け、職場内外での感染防止行動を徹底しつつ、取り組んでいただくようお願い申し上げます。

主唱 厚生労働省、中央労働災害防止協会

協賛 建設業労働災害防止協会、陸上貨物運送事業労働災害防止協会

港湾貨物運送事業労働災害防止協会、林業・木材製造業労働災害防止協会

毎日の笑顔は
やっぱり安全管理からやね！
みんな元気な職場が一番！



職場の安全、全国安全週間に
関する情報はこちらでも発信しています！

厚生労働省

<https://www.mhlw.go.jp/index.html>

中央労働災害防止協会

<https://www.jisha.or.jp/>

職場のあんぜんサイト

<https://anzeninfo.mhlw.go.jp/>

あんぜんプロジェクト

<https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzenproject/index.html>

職場の安全、全国安全週間に
関する情報はこちらで検索！

厚生労働省 安全衛生

検索

中央労働災害防止協会 安全週間

検索

職場のあんぜんサイト

検索

詳しくは、最寄りの都道府県労働局または労働基準監督署にご相談ください。

厚生労働省・都道府県労働局・労働基準監督署